

第二地銀協地銀の平成 14 年度中間決算の概要

平成 14 年 12 月 20 日
社団法人 第二地方銀行協会

当協会では、会員行の平成 14 年度中間決算を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

企画部：鈴木、波多野、榎本

TEL.03-3262-2183

会員行の平成14年度中間決算について
(要旨)

〔平成14年12月20日〕
〔(社)第二地方銀行協会〕

会員行の平成14年度中間決算(単体ベース)の概要は次のとおり。
(金融整理管財人下にある石川銀行および中部銀行を除く54行ベース。)

1. 損益の状況

(1) 業務純益(2,024億円、前中間期比 + 157億円、 + 8.4%)

【増益35行、減益19行 / 黒字52行、赤字2行】

人件費を中心とした経費の削減に努めた結果、中間期としては2年ぶりの増益。

(2) 経常利益(76億円、前中間期比 + 699億円)

【増益34行、減益20行 / 黒字45行、赤字9行】

業務純益の増益や、株式等償却の減少等により、中間期としては2年ぶりの黒字。

(3) 中間利益(17億円、前中間期比 + 679億円)

【増益35行、減益19行 / 黒字49行、赤字5行】

平成8年度中間期以来6年ぶりの黒字。

2. 不良債権の処理状況

(1) 不良債権処理額は、1,697億円。前中間期に前倒し処理を進めた影響や貸出金の減少により、前中間期比 582億円、 25.6%の減少。

(2) 金融再生法開示債権は、3兆9,476億円。オフバランス化の進展により、平成14年3月末比 284億円、 0.7%減少。開示債権比率は8.97%(平成14年3月末比横ばい)。

3. 単体自己資本比率(国内基準)

増資により自己資本が増加したことなどから、前中間期末比 + 0.60%ポイント上昇し8.58%と、過去最高の水準。

4. 主要勘定

預金は、中間期末としては4年連続の増加(56兆649億円、前中間期末比 + 130億円、 + 0.0%)、貸出金は、長引く景気低迷を反映して資金需要が低調であったことから、4年ぶりの減少(42兆9,112億円、同 1兆603億円、 2.4%)。

以 上

会員行の平成14年度中間決算の概要

〔平成14年12月20日〕
〔(社)第二地方銀行協会〕

会員行の平成14年度中間決算の概要は次のとおりである。

1. 単体決算

(注) 本文および別表記載の単体決算計数は、金融整理管財人下にある石川銀行および中部銀行を除く54行ベースである。

1. 損益の状況(資料1参照)

(1) 業務純益(2,024億円、前中間期比 + 157億円、 + 8.4%)

【増益35行、減益19行 / 黒字52行、赤字2行】

業務純益は、資金利益(前中間期比 120億円)や国債等債券関係損益(同 40億円)が減少したものの、一般貸倒引当金繰入額が減少(同 276億円)したことに加え、人件費を中心とした経費の削減(同 127億円)に努めた結果、中間期としては2年ぶりの増益となった。

(2) 経常利益(76億円、前中間期比 + 699億円)

【増益34行、減益20行 / 黒字45行、赤字9行】

経常利益は、業務純益が増益となったことに加え、個別貸倒引当金繰入額が減少(前中間期比 213 億円)したことや、前中間期に著増した株式等償却の反動(同 327 億円)により、会員行の8割強が黒字を確保した結果、中間期としては2年ぶりに黒字に転じた。

(3) 中間利益(17億円、前中間期比 + 679億円)

【増益35行、減益19行 / 黒字49行、赤字5行】

中間利益は、会員行の9割が黒字を確保した結果、平成8年度中間期以来6年ぶりに黒字に転じた。

(4) リストラの状況

経費は、経営の合理化、効率化に努めた結果、前中間期比 127億円、 2.9%と、1年決算に移行(昭和56年度)以来中間期としては最大の減少率を示し、

4,234億円となった。

人件費は、人員削減や賞与カット等を反映して、同 101億円、 4.4%と、1年決算に移行以来中間期としては最大の減少率を示し、2,215億円となった。因みに、職員数(末残)は、前中間期末比 2,774人(4.7%)減少して56,081人となった。

物件費は、店舗の統廃合によるリストラ効果などにより、消耗品費や土地建物賃借料などが減少した結果、前中間期比 23億円、 1.3%と、人件費と同様、1年決算に移行以来最大の減少率を示し、1,770億円となった。因みに、店舗数(末残)は、前中間期末比 121か店(3.0%)減少して3,883か店となった。

2. 経営諸指標(資料2参照)

(1) 利鞘

預貸金利鞘は、前中間期比 +0.02%ポイント拡大し0.96%となった。

総資金利鞘は、同 +0.05%ポイント拡大し0.56%と、1年決算に移行以来、中間期としては最高の水準となった。因みに、総資金利鞘が拡大した会員行は42行、横ばい12行、縮小10行となっている。

(2) 諸効率

預貸率(末残ベース)は、前中間期末比 1.41%ポイント低下し76.34%、預証率(末残ベース)は、同 0.50%ポイント低下し20.36%となった。

コア業純ROAは、前中間期比 0.02%ポイント低下し0.64%となった。

コア業純ROEは、同 +0.12%ポイント上昇し14.75%となった。

コア業務粗利益OHRは、同 +0.21%ポイント上昇し68.51%となった。

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) × (期中日数 / 中間期中日数) / 総資産平残 × 100

2. コア業純ROE = (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) × (期中日数 / 中間期中日数) / 資本計平残 × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益 - 国債等債券関係損益) × 100

3. 不良債権の処理状況

(1) 不良債権処理額(資料3参照)

不良債権処理額^(注1)は、前中間期に前倒し処理を進めた影響や貸出金が減少したことにより貸倒引当金繰入額が減少(前中間期比 560億円)したことから、同582億円、25.6%減少して、1,697億円となった。

(注)不良債権処理額とは、貸倒引当金繰入額(一般貸倒引当金繰入額、個別貸倒引当金繰入額、特定海外債権引当勘定繰入額)、貸出金償却、CCPC売却損等、RCC売却損、債権売却損失引当金繰入額、取引先支援損(債権放棄等)、特定債務者支援引当金繰入額等をいう。

(2) 金融再生法開示債権(資料4参照)

金融再生法開示債権は、オフバランス化の進展により破産更生等債権が減少したことなどから、平成14年3月末比 284億円、0.7%減少して3兆9,476億円(前中間期末比+1,132億円、+3.0%)となった。この結果、開示債権比率は8.97%(平成14年3月末比横ばい)となった。

4. 単体自己資本比率(資料6参照)

単体自己資本比率(国内基準)は、増資により自己資本が増加したことなどから、前中間期末比+0.60%ポイント上昇して8.58%と、過去最高の水準となった。

また、Tier 比率は、同+0.51%ポイント上昇して6.82%となった。

5. 主要勘定(資料7参照)

預金は、中間期末としては4年連続の増加となった一方、貸出金は、長引く景気低迷を反映して資金需要が低調であったことから、4年ぶりの減少となった。

(1) 預金(56兆649億円、前中間期末比+130億円、+0.0%)

預金種類別にみると、要求払預金は、前中間期末比+5兆4,717億円、+34.6%と増加した一方、定期性預金は、同5兆3,997億円、13.6%減少した。

預金者別にみると、一般法人預金は、同1兆374億円、7.8%減少した一方、個人預金は、同+8,952億円、+2.2%増加した。

(2) 貸出金(42兆9,112億円、前中間期末比1兆603億円、2.4%)

業種別にみると、個人(同+2.6%)および地方公共団体(同+12.1%)が増加

を示した一方、法人については製造業(同 8.2%)や建設業(同 9.8%)など、ほとんどの業種で減少した。

消費者ローンは、住宅ローンが増加(同 +6.2%)したことから、同 +5,220億円、+4.8%増加した。

・連結決算(速報値)

(注)本文および別表記載の連結決算計数は、原則として、連結決算を行っていない静岡中央銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行のほか、中間期として初めて連結決算の対象となったため前中間期との比較ができない島根銀行ならびに金融整理管財人下にある石川銀行、中部銀行を除く49行ベースである。ただし、連結自己資本比率については、静岡中央銀行、島根銀行を含む51行ベースである。

1. 損益の状況(資料8参照)

(1) 経常利益

経常利益は、前中間期比 +698億円増加して74億円と、中間期としては2年ぶりに黒字(黒字40行、赤字9行)に転じた。

(2) 中間純利益

中間純利益は、前中間期比 +639億円増加したが、25億円の赤字(黒字44行、赤字5行)となった。

2. 連結自己資本比率(資料9参照)

連結自己資本比率(国内基準)は、前中間期末比 +0.60%[〃] 引上りして8.53%と、過去最高の水準となった。

また、連結Tier 比率は、同 +0.48%[〃] 引上りして6.76%となった。

以 上

1.【単体】損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成14年度		前年同	平成13年度	前年同	
	中間	増減			中間	増減
	期	額	比	期	額	比
			率			率
業務純益	202,447 209,595	15,755	8.4	186,692	724	0.4
業務粗利益	628,680 635,944	24,687	3.8	653,367	8,867	1.4
資金利益	591,764 599,152	12,035	2.0	603,799	114	0.0
役務取引等利益	27,142 27,132	2,503	8.4	29,645	2,252	8.1
特定取引利益	7 7	10	58.8	17	40	-
その他業務利益	9,735 9,621	10,134	51.0	19,869	6,685	67.8
国債等債券関係損益	10,729 10,649	4,044	27.4	14,773	3,859	35.6
経費	423,408 430,662	12,793	2.9	436,201	12,258	2.8
一般貸倒引当金繰入額	2,807 4,332	27,639	90.8	30,446	21,853	511.3
臨時損益	194,825 232,006	54,135	-	248,960	105,591	-
個別貸倒引当金繰入額	127,051 163,687	21,392	14.4	148,443	5,922	4.2
株式等関係損益	35,561 35,848	29,212	-	64,773	78,949	-
経常利益	7,605 22,427	69,952	-	62,347	106,260	-
特別損益	5,537 35,063	8,827	-	3,290	28,099	-
税引前中間利益	13,139 57,494	78,778	-	65,639	78,159	-
法人税、住民税及び事業税	24,421 24,444	24,064	49.6	48,485	1,524	3.3
法人税等調整額	13,081 13,081	34,890	-	47,971	11,277	-
中間利益	1,763 68,894	67,935	-	66,172	65,366	-

(注) 1. 計数は、石川銀行、中部銀行を除く54行ベースである。ただし、平成13年度中間期(末)欄の「前年同期(末)比増減額・率」は、東京スター銀行、関西さわやか銀行、および石川銀行を除く53行ベースである(以下7表まで同じ)。

5/14

2. 下段計数は、会員全行(56行)ベースである(以下7表まで同じ)。

2.【単体】経営諸指標

(単位：%)

	平成14年度 中間期		平成13年度 中間期	
		前年同期比 増減		前年同期比 増減
貸出金利回 (A)	2.60	0.13	2.73	0.07
有価証券利回	1.22	0.19	1.41	0.33
資金運用利回 (B)	2.22	0.13	2.35	0.16
預金債券等原価 (C)	1.64	0.15	1.79	0.18
預金債券等利回	0.11	0.11	0.22	0.09
預金利回	0.11	0.11	0.22	0.09
譲渡性預金利回	0.05	0.03	0.08	0.11
経費率	1.53	0.04	1.57	0.09
人件費率	0.80	0.03	0.83	0.06
物件費率	0.64	0.00	0.64	0.02
税金率	0.09	0.00	0.09	0.01
資金調達利回	0.15	0.13	0.28	0.13
資金調達原価 (D)	1.66	0.18	1.84	0.20
預貸金利鞘 (A-C)	0.96	0.02	0.94	0.11
総資金利鞘 (B-D)	0.56	0.05	0.51	0.04
預貸率(未残)	76.34	1.41	77.75	1.37
" (平残)	77.94	0.09	78.03	1.27
預証率(未残)	20.36	0.50	20.86	0.86
" (平残)	20.67	0.30	20.37	0.82
コア業純ROA	0.64	0.02	0.66	0.05
コア業純ROE	14.75	0.12	14.63	1.26
コア業務粗利益OHR	68.51	0.21	68.30	2.57

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) × (期中日数 / 中間期中日数) / 総資産平残 × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益) × (期中日数 / 中間期中日数) / 資本計平残 × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益 - 国債等債券関係損益) × 100

3. 【単体】不良債権処理額

(単位：百万円、%)

	平成14年度 中間期末	前年同期末比		平成13年度 中間期末
		増減額	増減率	
貸倒引当金 繰入額	131,007	56,069	30.0	187,076
貸出金償却	19,478	2,400	11.0	21,878
CCPC 売却損等	1,346	56	4.0	1,402
RCC 売却損	727	257	26.1	984
債権売却損失 引当金繰入額	2,528	2,996	54.2	5,524
取引先支援損 (債権放棄等)	0	2,485	100.0	2,485
特定債務者支援 引当金繰入額	2,851	3,298	53.6	6,149
その他 不良債権処理額	11,764	9,311	379.6	2,453
合計 A	169,743	58,264	25.6	228,007

コア業務純益 B	194,525	7,840	3.9	202,365
(参考) A/B	87.3	25.4		112.7

与信費用比率 X	0.79	0.26		1.05
預貸金利鞘 Y	0.96	0.01		0.97
(参考) Y-X	0.17	0.25		0.08

(注) 1. 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額

2. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

3. 与信費用比率 = 不良債権処理額 / 貸出金(平残) × 100

4.【単体】金融再生法開示債権

(単位：億円、%)

	平成14年度 中間期末	対前年同期末比		平成13年度 中間期末	対前年同期末比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
破産更生等債権 A	10,559	754	6.7	11,313	421	3.6
危険債権 B	17,507	1,265	7.8	16,242	1,766	12.2
要管理債権 C	11,410	621	5.8	10,789	2,687	34.1
正常債権	400,235	13,442	3.2	413,677	3,579	0.9
合計 D	439,719	12,349	2.7	452,068	449	0.1
金融再生法 開示債権比率 (A+B+C)/D	8.97	0.49		8.48	0.89	

5. 【単体】リスク管理債権

(単位：百万円、%)

	平成14年度				平成13年度			
	中間期末	分類 の部分 直接償却	対前年同期末比		中間期末	分類 の部分 直接償却	対前年同期末比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
破綻先債権	443,038	325,738	8,924	2.0	451,962	242,754	76,005	14.5
延滞債権	2,250,082	336,824	120,504	5.7	2,129,578	299,820	369,075	21.1
3カ月以上延滞債権	29,586	0	8,210	21.7	37,796	0	12,283	25.7
貸出条件緩和債権	1,123,689	86	2,645	0.2	1,126,334	709	177,074	19.0
合計 A	3,846,466	662,665	100,728	2.7	3,745,738	543,295	457,863	14.1

貸出金 B	42,911,254	/	1,060,320	2.4	43,971,574	/	176,335	0.4
不良債権比率 A/B	8.96		0.45	8.51	1.02			
貸倒引当金 C	1,176,748		56,885	4.6	1,233,633		22,188	2.0
特定債務者 支援引当金 D	18,180		4,799	35.9	13,381		1,473	8.9
引当率 (C+D)/A	31.06		2.23	33.29	3.80			

(注) 1. 不良債権比率 = リスク管理債権 / 貸出金 (未残) × 100

2. 引当率 = (貸倒引当金 + 特定債務者支援引当金) / リスク管理債権 × 100

3. 貸出金には金融機関貸出金を

6. 【単体】自己資本比率の内訳

(単位：百万円、%)

		平成14年度 中間期		平成13年度 中間期	
		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
Tier (A)		2,394,332 2,191,531	99,937 4.4	2,294,395	90,110 3.9
Tier (B)		626,581 626,581	12,313 2.0	614,268	37,595 5.8
うち負債性資本調達手段		280,224 280,224	16,328 6.2	263,896	137,679 34.4
Tier +Tier (C) (A) + (B)		3,020,936 2,818,135	112,250 3.9	2,908,686	127,710 4.3
控除項目 (D)		7,950 7,950	1,617 25.5	6,333	2,884 82.4
自己資本額 (E) (C) - (D)		3,012,971 2,810,170	110,633 3.8	2,902,338	130,595 4.4
リスク・アセット (F)		35,091,140 35,577,154	1,238,981 3.4	36,330,121	109,304 0.3
自己資本比率 $\frac{(E)}{(F)}$		8.58 7.89	0.60	7.98	0.34
Tier 比率 $\frac{(A)}{(F)}$		6.82 6.15	0.51	6.31	0.23

7. 【単体】主要勘定（未残）の内訳（1 / 2）

（単位：百万円、％）

	平成14年度		平成13年度			
	中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率	中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
貸出金	42,911,254 43,511,329	1,060,320	2.4	43,971,574	176,335	0.4
有価証券	11,444,607 11,458,937	355,663	3.0	11,800,270	700,691	6.7
国債	5,021,309 5,030,717	23,175	0.5	4,998,134	636,683	16.7
地方債	791,188 791,211	9,853	1.2	801,041	54,028	7.2
社債	3,496,050 3,497,863	86,557	2.5	3,409,493	25,949	0.8
株式	924,782 927,866	113,819	11.0	1,038,601	159,838	13.3
外国証券	851,371 851,371	58,723	7.4	792,648	137,834	22.8
商品有価証券	71,896 71,899	29,510	29.1	101,406	16,815	14.3
金銭の信託	38,677 38,677	22,129	36.4	60,806	31,100	33.8
コールローン	1,269,663 1,289,663	125,712	9.0	1,395,375	623,077	30.3
運用勘定計	56,356,328 56,991,556	1,621,280	2.8	57,977,608	115,852	0.2
特定取引資産	171 171	150	714.3	21	255	92.4
繰延税金資産	683,754 683,754	66,009	10.7	617,745	101,776	19.6
貸倒引当金	1,176,748 1,236,033	56,885	4.6	1,233,633	40,404	3.6
投資損失引当金	308 308	191	38.3	499	761	60.4
資産計	61,158,305 61,813,014	645,433	1.0	61,803,738	809,418	1.4

7. 【単体】主要勘定（未残）の内訳（2 / 2）

（単位：百万円、％）

	平成14年度		平成13年度			
	中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率	中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
預金	56,064,990 56,388,815	13,023	0.0	56,051,967	741,469	1.4
譲渡性預金	132,338 245,838	362,048	73.2	494,386	430,088	668.9
コールマネー	52,160 279,160	73,389	58.5	125,549	42,276	49.6
売渡手形	81,400 81,400	76,500	1,561.2	4,900	-	-
調達勘定計	56,758,966 57,425,618	374,073	0.7	57,133,039	1,070,819	2.0
特定取引負債	- -	-	-	-	37	-
賞与引当金	20,609 20,947	4,020	16.3	24,629	-	-
退職給付引当金	191,757 196,670	15,297	8.7	176,460	24,767	16.2
繰延税金負債	0 0	-	-	-	4,486	-
負債計	58,511,566 59,364,957	727,881	1.2	59,239,447	927,896	1.6
資本金	926,110 959,041	112,966	13.9	813,144	47,257	6.5
新株式払込金	0 0	-	-	-	9,436	-
資本剰余金	644,450 664,431	-	-	-	-	-
利益剰余金	879,253 623,538	-	-	-	-	-
土地再評価差額金	176,881 180,939	6,718	3.7	183,599	4,900	2.6
株式等評価差額金	22,953 23,014	1,699	6.9	24,652	57,127	71.0
自己株式	2,983 2,983	2,944	-	39	-	-
資本計	2,646,713 2,448,032	82,446	3.2	2,564,267	118,479	4.5
負債及び資本計	61,158,305 61,813,014	645,433	1.0	61,803,738	809,418	1.4

8.【連結】損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成14年度			平成13年度		
	中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
経常収益	833,175	55,877	6.3	889,052	34,583	3.8
資金運用収益	619,445	45,188	6.8	664,633	32,244	4.7
役務取引等収益	84,404	285	0.3	84,119	6,086	7.8
特定取引等収益	7	10	58.8	17	1	5.6
その他業務収益	79,679	7,460	8.6	87,139	18,312	27.8
その他経常収益	49,564	3,511	6.6	53,075	26,733	33.4
経常費用	825,723	125,769	13.2	951,492	75,013	8.6
資金調達費用	42,885	35,871	45.5	78,756	31,779	28.8
役務取引等費用	44,240	2,619	6.3	41,621	3,609	9.6
特定取引等費用	-	-	-	-	-	-
その他業務費用	64,528	2,983	4.8	61,545	10,748	21.1
営業経費	429,508	8,490	1.9	437,998	13,190	2.9
その他経常費用	244,463	87,011	26.2	331,474	105,658	47.7
経常利益	7,438	69,889	-	62,451	109,584	-
特別利益	15,939	4,715	42.0	11,224	24,728	68.6
特別損失	12,635	1,200	8.7	13,835	54,051	79.6
税金等調整前当期純利益	10,734	75,795	-	65,061	80,256	-
法人税、住民税及び事業税	23,889	25,027	51.2	48,916	2,553	5.2
法人税等調整額	12,322	36,690	-	49,012	11,284	-
少数株主利益	1,723	161	10.3	1,562	1,465	47.2
中間純利益	2,589	63,964	-	66,553	64,959	-

(注) 計数は、静岡中央銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、島根銀行、石川銀行、中部銀行を除く49行ベースである。ただし、13年度中間期欄の前年同期比は、東京スター銀行、静岡中央銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、島根銀行、石川銀行を除く49行ベースである。

9.【連結】自己資本比率の内訳

(単位：百万円、%)

		平成14年度 中間期		平成13年度 中間期			
		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率		
Tier (A)		2,353,569	93,862	4.2	2,259,707	92,583	4.0
Tier (B)		616,861	16,248	2.7	600,613	43,353	6.7
	うち負債性資本調達手段	273,224	16,328	6.4	256,896	137,935	34.7
Tier +Tier (C)	(A) + (B)	2,970,451	110,103	3.8	2,860,348	130,104	4.4
控除項目 (D)		3,856	2,551	39.8	6,407	2,955	84.4
自己資本額 (E)	(C) - (D)	2,966,582	112,655	3.9	2,853,927	133,056	4.5
リスク・アセット (F)		34,772,010	1,173,006	3.3	35,945,016	176,059	0.5
自己資本比率	$\frac{(E)}{(F)}$	8.53	0.60		7.93	0.33	
Tier 比率	$\frac{(A)}{(F)}$	6.76	0.48		6.28	0.23	

(注) 計数は、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、石川銀行、中部銀行を除く51行ベースである。ただし、平成13年度中間期欄の前年同期比は、東京スター銀行、関西さわやか銀行、大正銀行、奈良銀行、石川銀行を除く51行ベースである。